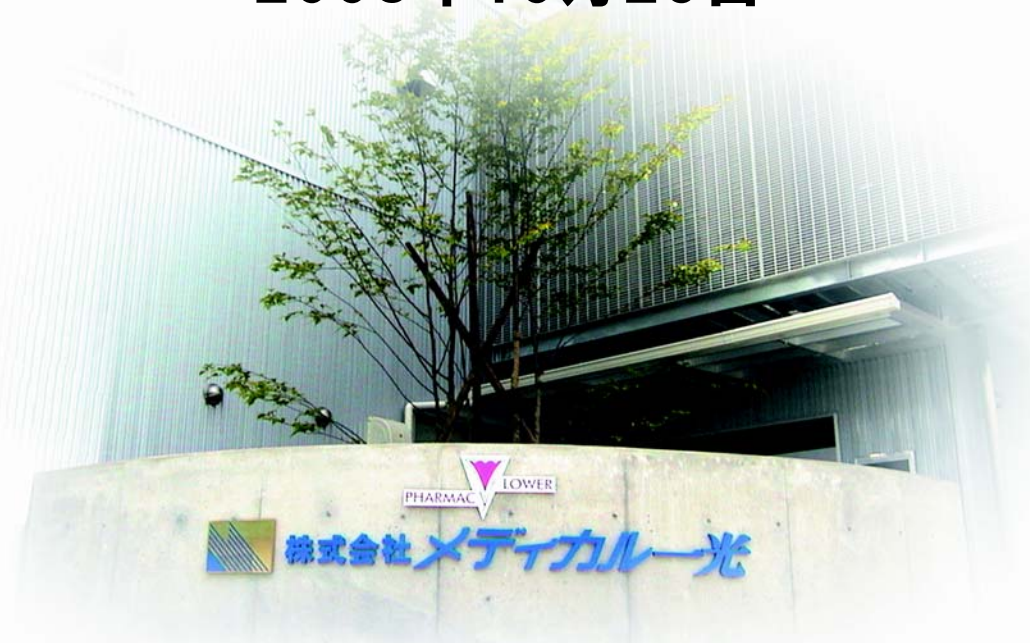


株式会社メディカルー光

2009年2月期 中間決算説明会

2008年10月23日



代表取締役社長 南野 利久

JASDAQ

(証券コード：3353)

I. 2009年2月期 中間決算概要

II. 2009年2月期 中間決算業績詳細

■ 2009年2月期 中間決算(連結PL)

(単位:百万円)

	08年2月期 中間期		09年2月期 中間期		前 期 比		計 画 比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売 上 高	7,003	100.0%	7,937	100.0%	934	13.3%	205	2.6%
売 上 原 価	6,322	90.3%	7,158	90.2%	836	13.2%	111	1.6%
売上総利益	680	9.7%	778	9.8%	98	14.4%	93	13.6%
販 管 費	394	5.6%	460	5.8%	66	16.6%	30	7.1%
営業利益	286	4.1%	318	4.0%	32	11.2%	63	24.7%
経常利益	234	3.3%	258	3.3%	24	10.3%	69	36.5%
中間純利益	110	1.6%	120	1.5%	10	8.8%	60	100.0%

■ <連結> セグメント別 実績

(単位:百万円)

		08年2月期中間		09年2月期中間		前期比	
			構成比		構成比	増減額	増減率
【売上高合計】		7,003	100.0%	7,937	100.0%	+934	13.3%
調剤薬局事業	売上高	6,539	93.4%	7,426	93.6%	+887	13.6%
	営業利益	451	89.3%	462	86.2%	+11	2.6%
医薬品卸事業	売上高	280	4.0%	273	3.4%	△7	△2.5%
	営業利益	15	3.0%	11	2.2%	△4	△23.3%
介護事業	売上高	84	1.2%	136	1.7%	+52	61.2%
	営業利益	△24	△4.7%	11	2.1%	+35	—
不動産事業	売上高	99	1.4%	101	1.3%	+2	1.8%
	営業利益	62	12.3%	51	9.5%	△11	△18.5%
共通経費	営業利益	△219	△43.3%	△218	△40.6%	1	—

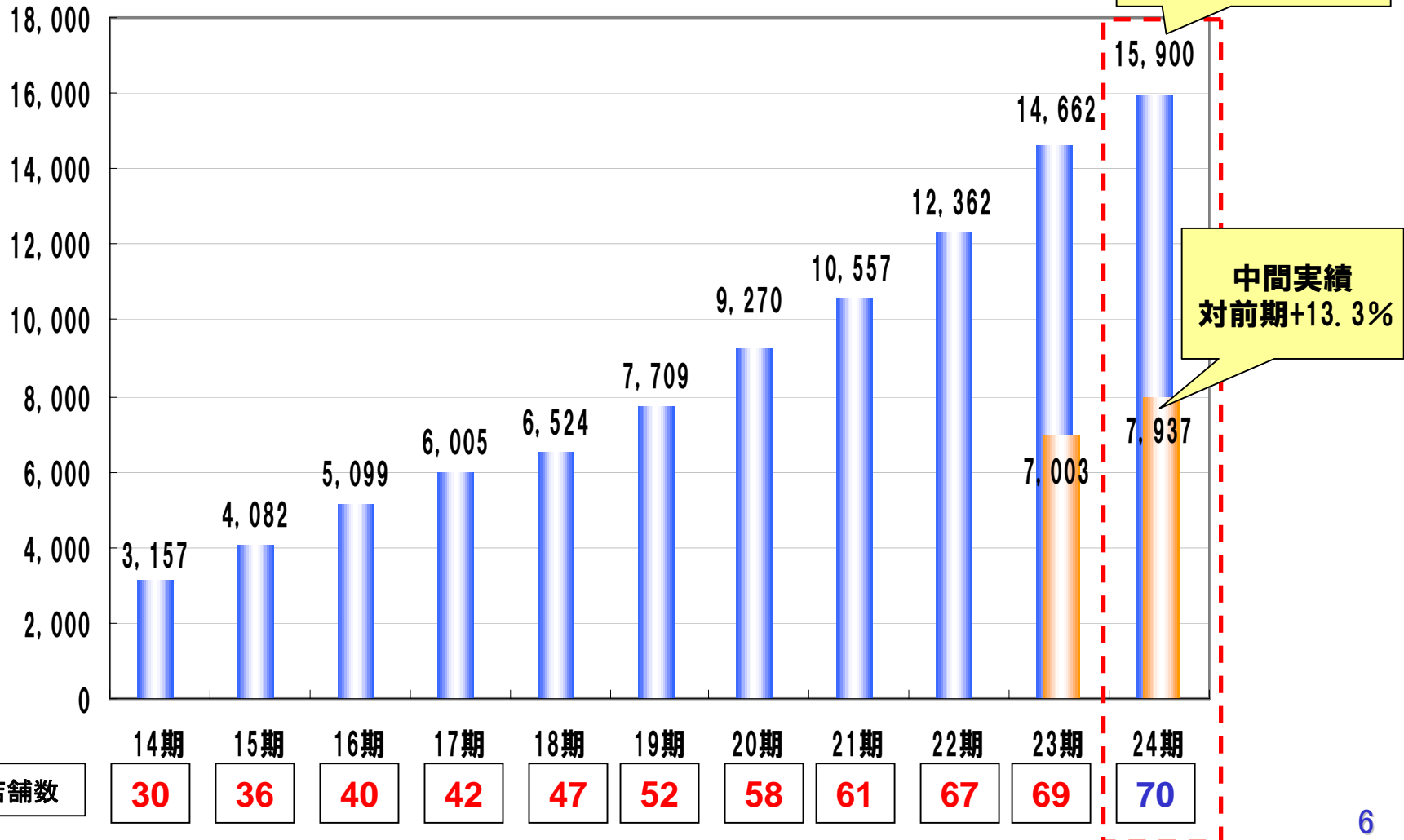
■ 2009年2月期 通期業績計画

(単位:百万円)

	08年2月期		09年2月期 予想		前期比		期初の計画	
	実績	構成比	実績	構成比	増加額	増減率	計画	修正額 (+)
売上高	14,662	100.0%	15,900	100.0%	1,238	8.4%	15,621	279
売上原価	13,129	89.5%	14,362	90.3%	1,233	9.4%	14,200	162
売上総利益	1,533	10.5%	1,538	9.7%	5	0.3%	1,420	118
販管費	821	5.6%	904	5.7%	83	10.1%	855	49
営業利益	712	4.9%	634	4.0%	-78	-11.0%	565	69
経常利益	639	4.4%	551	3.5%	-88	-13.8%	464	87
当期純利益	289	2.0%	250	1.6%	-39	-13.5%	176	74

■ 売上高・店舗数(第14期～第24期)

(単位：百万円)

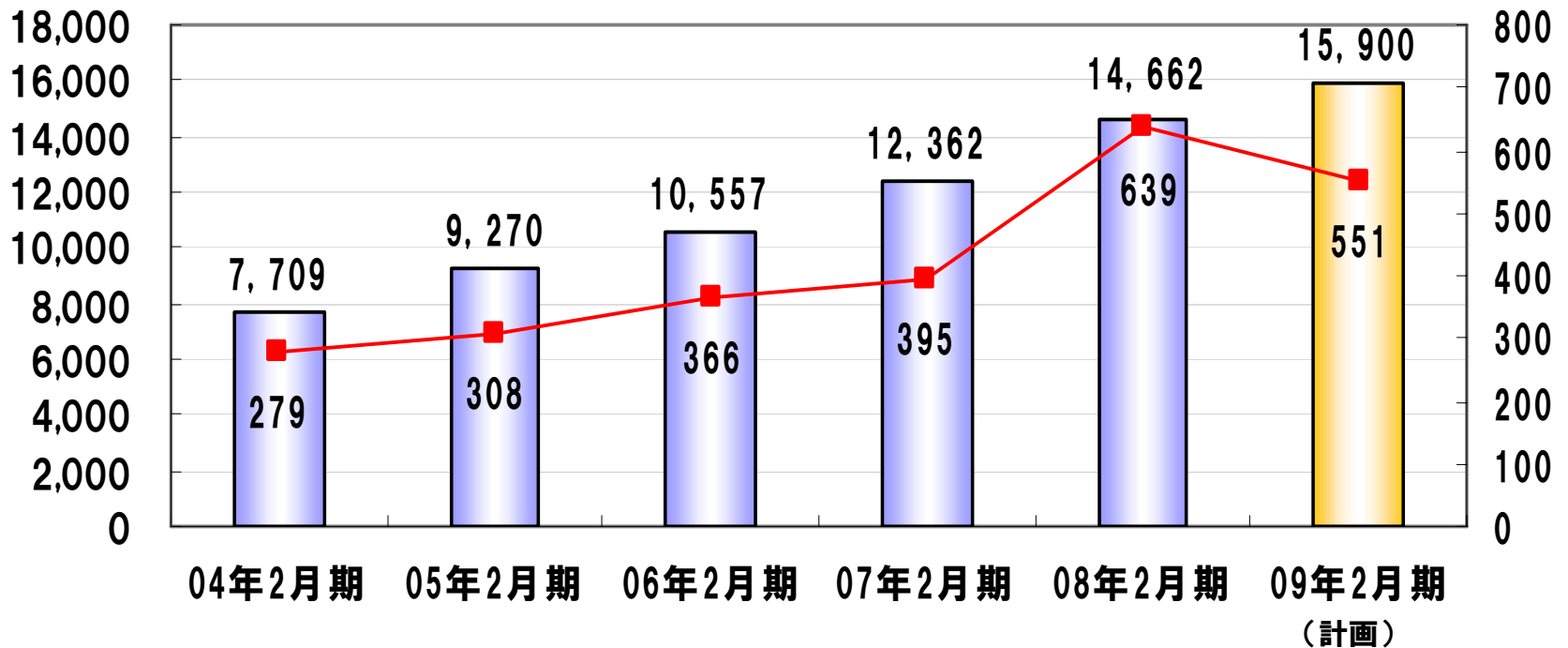


24期(09年2月期)は8月末時点の店舗数

業績推移

売上高 経常利益

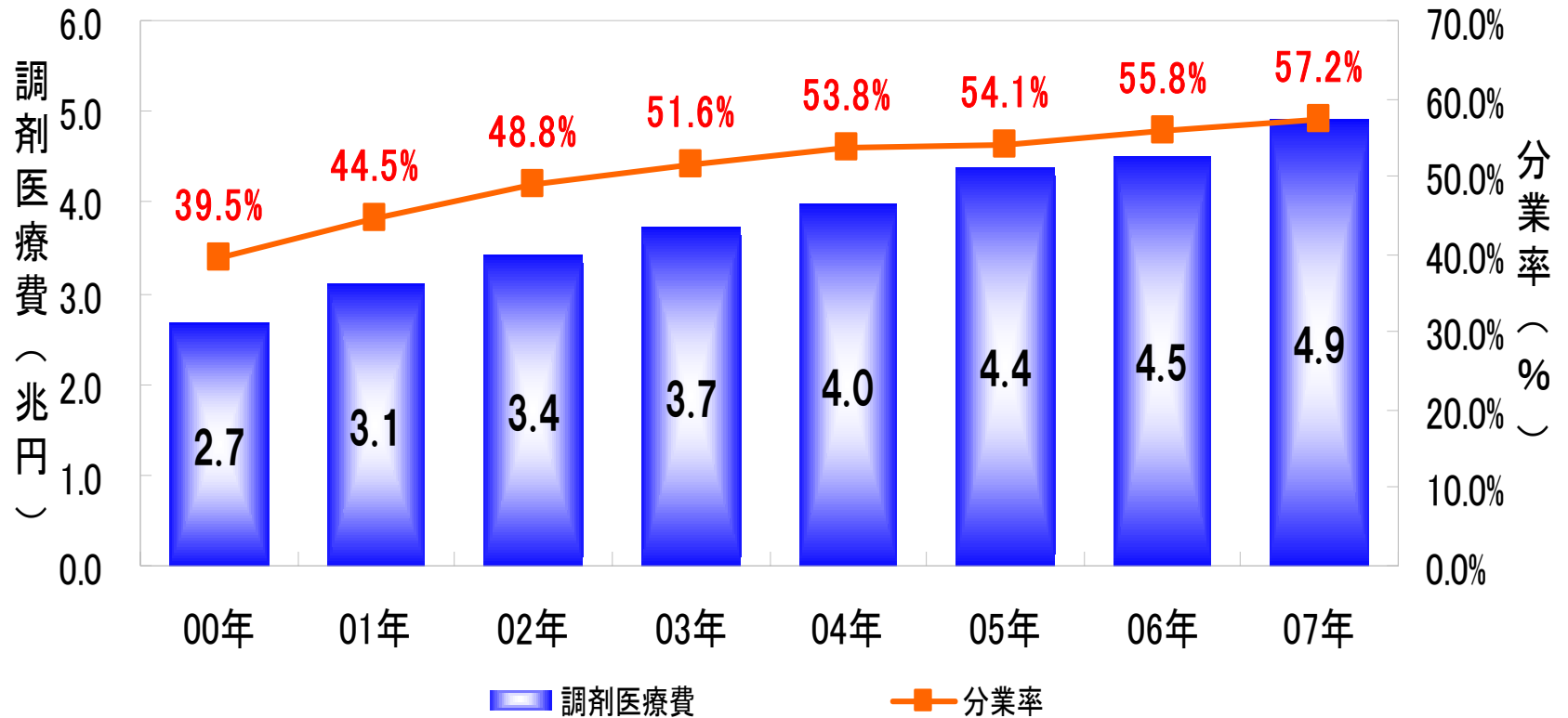
(単位:百万円)



	04年2月期	05年2月期	06年2月期	07年2月期	08年2月期	09年2月期
売上高	7,709	9,270	10,557	12,362	14,662	15,900
経常利益	279	308	366	395	639	551

調剤医療費と分業率

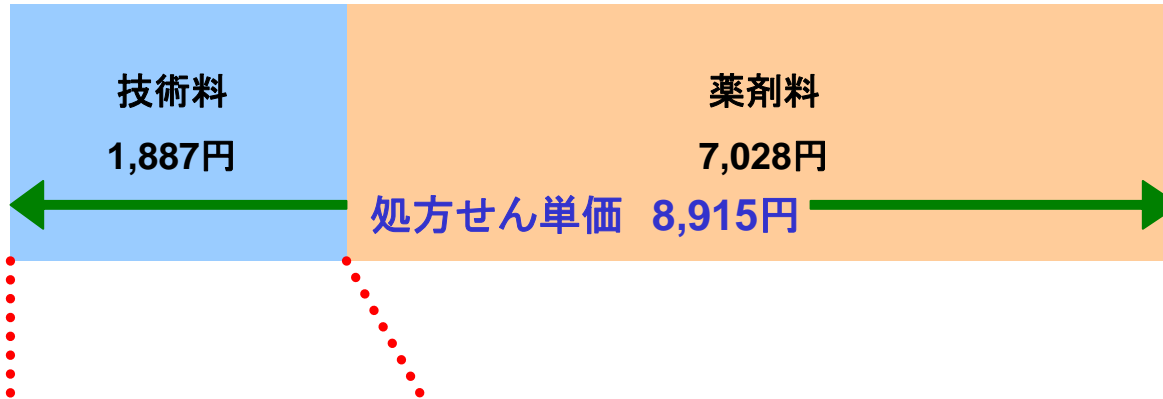
調剤医療費と分業率



(出所:日本薬剤師会)

■ 薬価・調剤報酬改定の影響

◆ 08年3月



◆ 08年8月



(単位:円)

	06年3月	07年3月	08年3月	08年4月	08年8月	対比
薬剤料単価	6,127	6,150	7,028	7,073	7,362	+334
技術料単価	1,872	1,884	1,887	1,998	1,986	+99

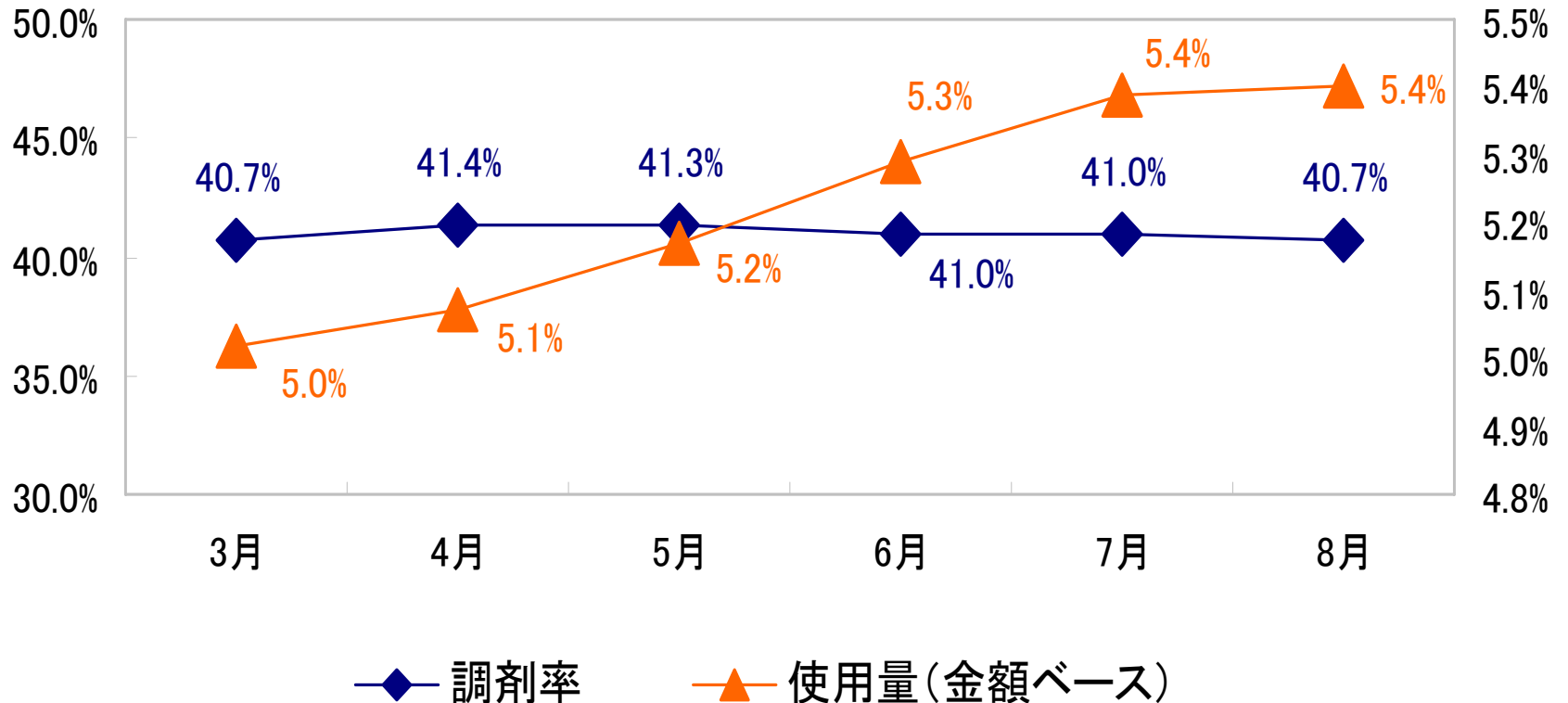
対比は08年3月と08年8月の比較

ジェネリック医薬品 使用率

ジェネリック医薬品の使用率

調剤率 (%)

使用量 (%)

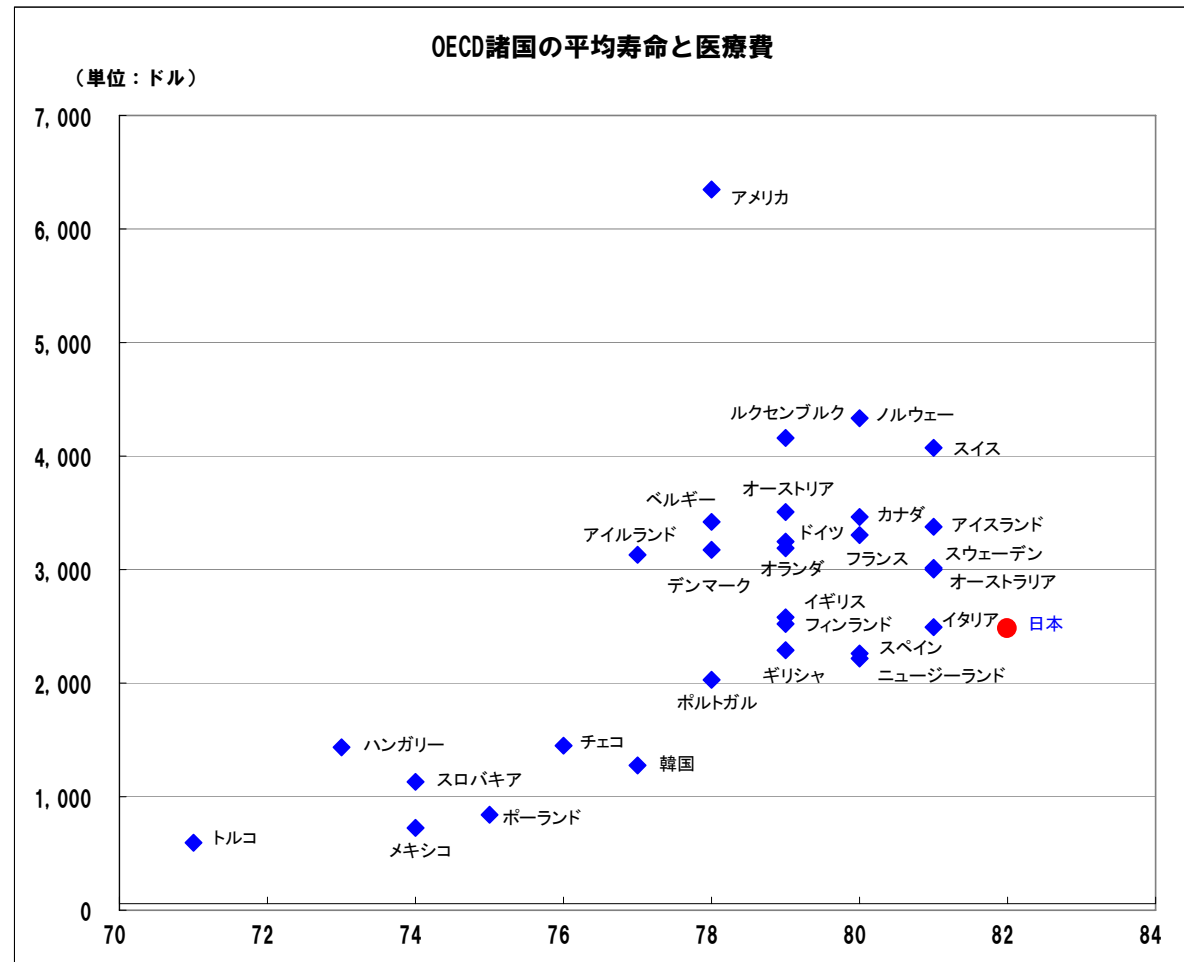


調剤率・・・応需したすべての処方箋のうち、ジェネリック医薬品を調剤した処方箋の比率

使用量 (金額ベース)・・・薬剤料全体に占めるジェネリック医薬品の使用比率

OECD諸国の平均寿命と医療費

	平均寿命	医療費
日本	82	2,474
スイス	81	4,069
アイスランド	81	3,373
スウェーデン	81	3,012
オーストラリア	81	2,999
イタリア	81	2,496
ノルウェー	80	4,328
カナダ	80	3,460
フランス	80	3,306
スペイン	80	2,260
ニュージーランド	80	2,223
ルクセンブルク	79	4,153
オーストリア	79	3,507
ドイツ	79	3,251
オランダ	79	3,192
イギリス	79	2,580
フィンランド	79	2,523
ギリシャ	79	2,283
アメリカ	78	6,347
ベルギー	78	3,421
デンマーク	78	3,169
ポルトガル	78	2,029
アイルランド	77	3,126
韓国	77	1,276
チェコ	76	1,447
ポーランド	75	843
スロバキア	74	1,130
メキシコ	74	724
ハンガリー	73	1,440
トルコ	71	591



※平均寿命・・・2004年統計

医療費・・・2005年統計

出所) 平均寿命: 世界保健機構(WHO)「世界保健報告2006」

医療費: OECD Health Data 2008

■ 改正薬事法

◆ 2009年6月1日に全面施行

一般医薬品の販売

	薬剤師	登録販売者	情報提供
第一類医薬品	○	×	義務
第二類医薬品	○	○	努力目標
第三類医薬品	○	○	不要

◆ 第一類医薬品

副作用等により日常生活に支障をきたす程度の健康被害が生ずるおそれのある一般医薬品のうち、特に注意が必要なもの
(スイッチOTC薬、一部の毛髪用剤など)

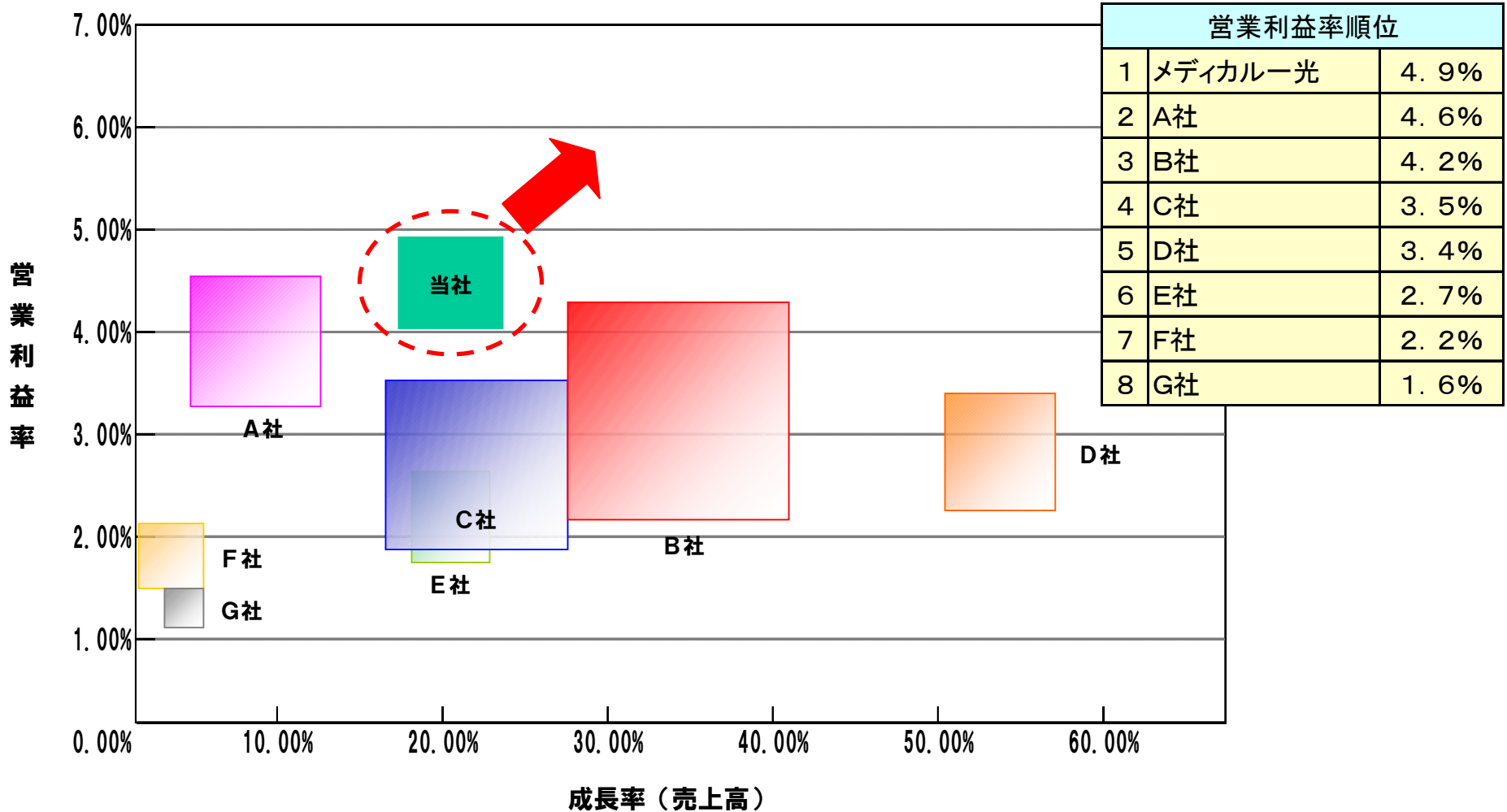
◆ 第二類医薬品

副作用等により日常生活に支障をきたす程度の健康被害が生ずるおそれのある一般医薬品
(風邪薬、解熱・鎮痛剤など)

◆ 第三類医薬品

上記以外の一般医薬品
(ビタミンC含有保健薬など)

■ 競合他社分析(財務比較)



■ 医薬品卸の参入

 <p>メディセオ・パルタックHD</p>	<p>2007.10</p> <p>資本参加</p>	<p>クオール</p>
 <p>アルフレッサHD</p>	<p>2008.3</p> <p>子会社化</p> <p>2008.9</p> <p>資本参加</p>	<p>アポロメディカルHD</p> <p>ファーマホールディング</p>
 <p>スズケン</p>	<p>2008.10</p> <p>子会社化</p>	<p>ファーコス</p>
 <p>東邦薬品</p>	<p>2007.8</p> <p>業務提携</p> <p>資本参加</p> <p>2008.5</p> <p>子会社化</p>	<p>富士バイオメディックス</p> <p>全快堂薬局グループ</p>

■ 投資内訳

(単位:百万円)

	06年2月期	07年2月期	08年2月期	09年2月期 中間	合計
調剤薬局事業	387	822	647	31	1,887
(新店舗)	387	115	55	31	588
(M&A)	—	707	592	—	1,299
不動産事業	2	440	29	2	473
介護事業	63	56	93	73	285
メディカルモール	—	123	19	—	142
合計	452	1,441	788	106	2,787

■ 投資効果

(単位:百万円)

	07年2月期			08年2月期			09年2月期 中間			09年2月期 通期計画		
	調剤全体	M & A	M & A 比率	調剤全体	M & A	M & A 比率	調剤全体	M & A	M & A 比率	調剤全体	M & A	M & A 比率
売上高	11,679	840	7.20%	13,690	1,822	13.31%	7,428	1,200	16.15%	14,823	2,326	15.69%
売上原価	10,782	699	6.49%	12,439	1,555	12.50%	6,806	1,037	15.24%	13,580	2,028	14.94%
売上総利益	896	141	15.72%	1,251	267	21.36%	622	163	26.16%	1,243	298	23.97%
営業利益	881	126	14.29%	1,229	245	19.94%	608	149	24.46%	1,215	270	22.25%
経常利益	846	126	14.93%	1,192	243	20.37%	590	147	24.98%	1,178	267	22.69%
経常利益率	7.24%	15.03%		8.71%	13.33%		7.95%	12.29%		7.94%	11.48%	
投資額	7億700万円			5億9,200万円								
(M & A)	平安薬局・メデコア			山梨薬剤センター								

合計 12億9,900万円

※本社経費除く

■ 医薬品卸事業

◆ ジェネリック医薬品の使用促進



【取引先】

沢井製薬株式会社

大洋薬品工業株式会社 他13社

➤ 処方せん様式の再変更

→ 処方増への誘導

➤ 保険薬局及び保険薬剤師

療養担当規則の改定

→ 備蓄・調剤体制の確保

➤ 調剤報酬改定

→ 使用促進に対するインセンティブ

(単位:百万円)

	2008年2月期			2009年2月期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	通期計画
売上高	280	287	567	273	321	595
営業利益	15	12	27	11	19	30

■ 介護事業

◆ 2008年2月期より施設運営を開始



【鳳光苑】（介護付有料老人ホーム）

運営開始日：2007年3月1日～

所在地：島根県簸川郡

居室数：43室

入居率：100%



【出雲鳳光苑】（高齢者向け優良賃貸住宅）

運営開始日：2007年6月1日～

所在地：島根県出雲市

居室数：30室

入居率：100%

（単位：百万円）

	2008年2月期			2009年2月期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	通期計画
売上高	84	121	205	136	145	281
営業利益	△24	15	△8	11	△11	0

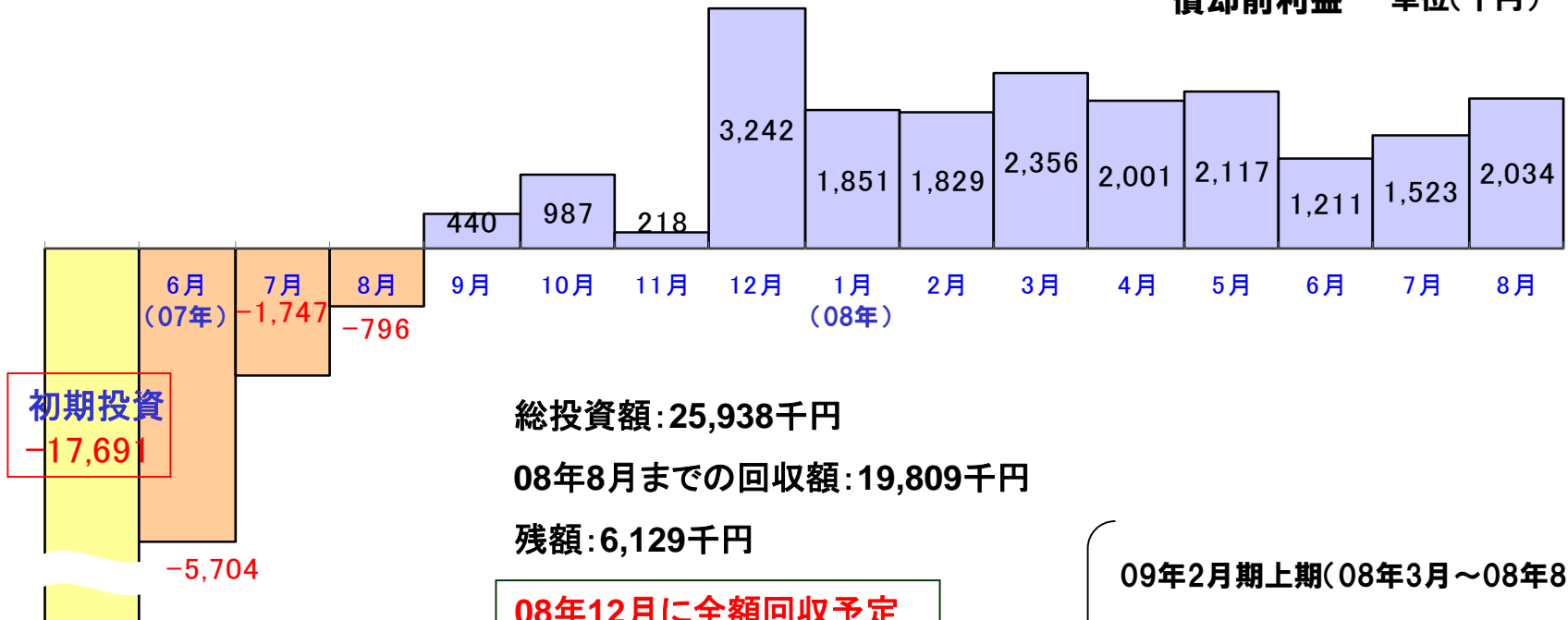
■ 投資回収(出雲鳳光苑)

07年9月～08年2月計 +8,567千円

08年3月～08年8月計 +11,242千円

総投資額 **25,938千円**

償却前利益 単位(千円)



総投資額: 25,938千円

08年8月までの回収額: 19,809千円

残額: 6,129千円

08年12月に全額回収予定

09年2月期上期(08年3月～08年8月)

経常利益: 10,773千円

(07年)

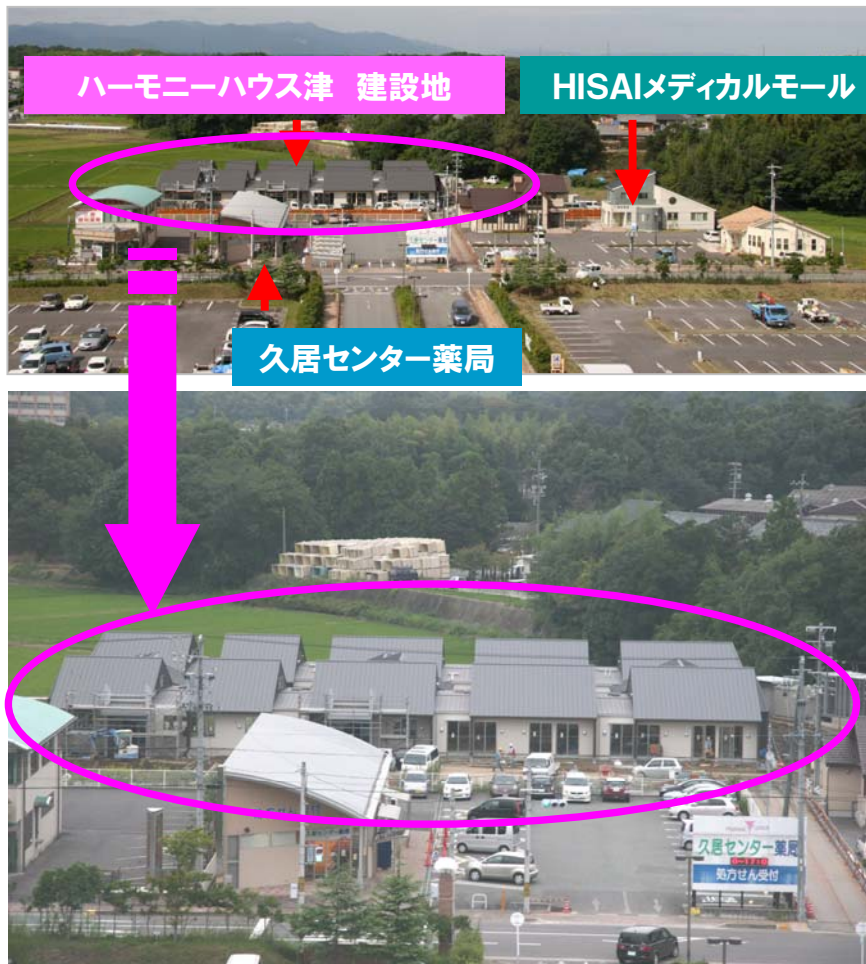
(08年)

居室数: 30室
入居者数

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
入居者数	6	9	14	20	17	19	22	29	28	27	29	28	29	29	30

■ 介護事業(ハーモニーハウス津)

◆ 3施設目となる有料老人ホームの開設着手



ハーモニーハウス津 完成予定図

【住所】:三重県津市久居明神町

【形態】:住宅型有料老人ホーム

【居室数】:35室

■ CSR活動

◆三重大学小児科 サマーキャンプを後援



「三重大学小児科血液腫瘍外来サマーキャンプ2008」

開催日：8月2日（土）～3日（日）

場 所：おおみや青少年旅行村大滝峡キャンプ場（三重県度会郡紀北町）

参加数：90名

■ ホームページの充実

◆ 9月1日 リニューアルを実施



Medikal Ichikou - Windows Internet Explorer

http://www.m-ikkou.co.jp/

ここから日本語で検索(JWord)

Google 検索

株式会社 **メディカル一光**

サイトマップ | お問い合わせ | サイトポリシー | サイト内検索 | 検索

文字の大きさ (A) (A) (A)

IR情報 | 採用情報 | 会社情報 | CSR活動 | 店舗情報 | HOME

調剤薬局事業 | 医薬品卸事業 | 介護事業 | 不動産事業

IRピックアップ

- 決算説明会資料
- IRメール配信サービス
- IRアンケート
- 個人投資家の皆様へ

IR情報

新着情報 >>一覧

2008年9月1日 **NEW**
ホームページをリニューアルしました

2008年9月1日 **NEW IR**
> 第24期第1四半期報告書(株主レポート)を掲載しました

2008年9月1日 **NEW IR** (86KB)
> 自己株式の市場買付けが7割終了に関するお知らせ

医療ニュース >>一覧

9月19日掲載

- 中学校給食にも事故米=47校、5254人分=農薬検出の浅井出荷分・京都
- 指定検問医ら14職種最優先=ワクチン順位、3分類=新型インフル対策・政府案
- 療養病床と連携強化志=「難民」回診に役割期待=救急施

ページが表示されました

インターネット 100%

■ 2008年度 JASDAQ IR優良会社



JASDAQ

Jasdaq Securities Exchange

優良IR賞

I. 2009年2月期 中間決算概要

II. 2009年2月期 中間決算業績詳細

■ 2009年2月期 中間決算(連結PL)

1. 売上高 ⇒ 調剤薬局事業(子会社含む)が寄与し、前期対比 934百万円増加
2. 売上総利益 ⇒ 子会社売上高の増加により、売上総利益が増加(前期比 +98百万円)
⇒ 計画比 +93百万円(売上増加及び、諸経費率の減少 △26百万円)
3. 経常利益 ⇒ 前期比 +24百万円(売上増加が主因)
⇒ 計画比 +69百万円(//)
4. 中間純利益 ⇒ 前期比 +10百万円、計画比 +60百万円

(単位:百万円)

	08年2月期 中間期		09年2月期 中間期		前 期 比		計 画 比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	7,003	100.0%	7,937	100.0%	934	13.3%	205	2.6%
売上原価	6,322	90.3%	7,158	90.2%	836	13.2%	111	1.6%
売上総利益	680	9.7%	778	9.8%	98	14.4%	93	13.6%
販管費	394	5.6%	460	5.8%	66	16.6%	30	7.1%
営業利益	286	4.1%	318	4.0%	32	11.2%	63	24.7%
経常利益	234	3.3%	258	3.3%	24	10.3%	69	36.5%
中間純利益	110	1.6%	120	1.5%	10	8.8%	60	100.0%

■ 中間決算(連結) 販管費・営業利益

◇販管費の適正化

・売上総利益 前年比 98百万円増加により、営業利益 32百万円増加

【販管費の主な増加】

- ・人件費 ⇒ 業容拡大に伴う、本社・子会社の増加
- ・設備関係費 ⇒ のれん償却費の増加
- ・諸経費 ⇒ 内部統制費用及び募集研修費の増加

(単位:百万円)

	08年2月期 中間期		09年2月期 中間期		前 期 比	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上総利益	680	9.72%	778	9.81%	98	0.09%
販管費合計	394	5.64%	460	5.80%	66	0.16%
(人件費)	224	3.20%	239	3.02%	15	-0.18%
(設備関係費)	42	0.60%	61	0.76%	19	0.16%
(諸経費)	128	1.83%	160	2.01%	32	0.18%
営業利益	286	4.08%	318	4.01%	32	-0.07%

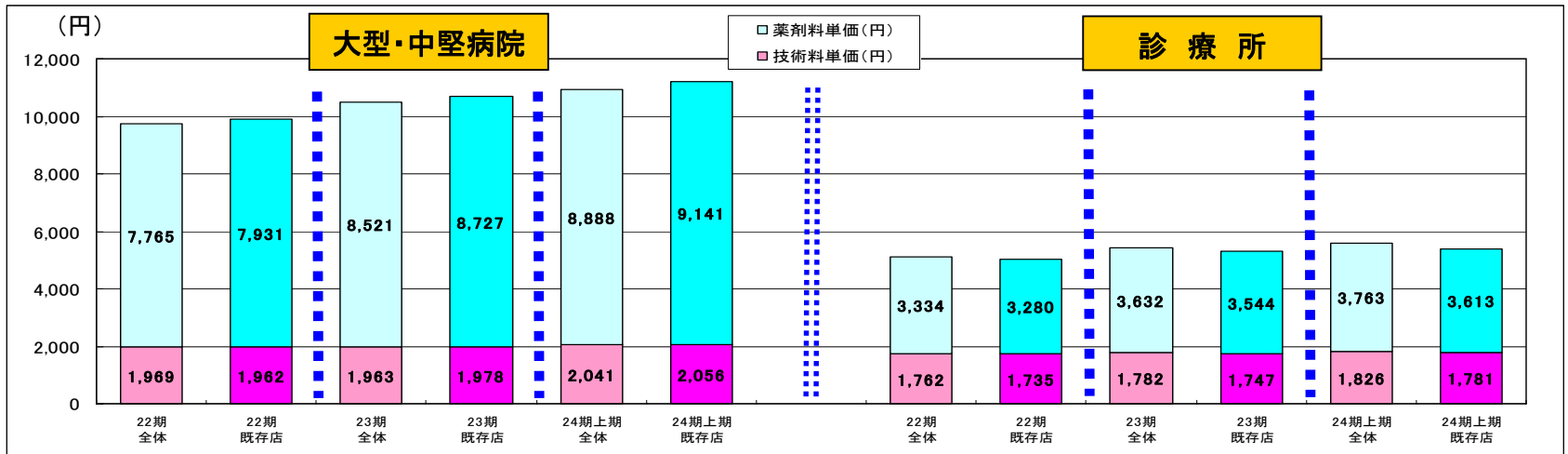
2009年2月期 中間(連結) 調剤薬局事業 売上原価

◇売上総利益率 $\Delta 0.08\%$ (売上原価が 0.08% 上昇)
(材料比率 $+0.69\%$ の増加、諸経费率等の低下 $\Delta 0.61\%$ でカバー)

(単位:百万円)

	08年2月期 中間期		09年2月期 中間期		前 期 比		予 算 比	
	実績	構成比	実績	構成比	増加額	増減率	予算額	増減額
売上高合計	6,538	100.0%	7,428	100.0%	890		7,201	227
売上原価合計	5,986	91.56%	6,807	91.64%	821	0.08%	6,656	151
材 料 費	4,576	69.99%	5,250	70.68%	674	0.69%	5,093	157
労 務 費	1,018	15.57%	1,151	15.50%	133	-0.07%	1,140	11
設備関係費	239	3.66%	244	3.28%	5	-0.38%	243	1
諸 経 費	153	2.34%	162	2.18%	9	-0.16%	179	-17
売上総利益	552	8.44%	621	8.36%	69	-0.08%	545	76

調剤薬局事業(連結) 処方箋単価



1. 全体

<大型・中堅病院>	22期	23期	24期上期
店舗数(期末)	38	40	41
売上高(百万円)	8,566	10,447	5,764
薬剤料単価(円)	7,765	8,521	8,888
技術料単価(円)	1,969	1,963	2,041
薬剤料単価/増減(円)	-	756	367
技術料単価/増減(円)	-	-6	78

<診療所>	22期	23期	24期上期
店舗数(期末)	29	29	29
売上高(百万円)	3,033	3,155	1,609
薬剤料単価(円)	3,334	3,632	3,763
技術料単価(円)	1,762	1,782	1,826
薬剤料単価/増減(円)	-	298	131
技術料単価/増減(円)	-	20	44

2. 既存店ベース

<大型・中堅病院>	22期	23期	24期上期
店舗数(期末)	37	37	37
売上高(百万円)	7,939	8,780	4,448
薬剤料単価(円)	7,931	8,727	9,141
技術料単価(円)	1,962	1,978	2,056
薬剤料単価/増減(円)	-	796	414
技術料単価/増減(円)	-	16	78

<診療所>	22期	23期	24期上期
店舗数(期末)	27	26	26
売上高(百万円)	2,829	2,863	1,422
薬剤料単価(円)	3,280	3,544	3,613
技術料単価(円)	1,735	1,747	1,781
薬剤料単価/増減(円)	-	264	69
技術料単価/増減(円)	-	12	34

2009年2月期中間 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	08年2月期中間		09年2月期中間		増減額	当期の増減要因
		構成比		構成比		
流動資産	4,398	42.5%	4,199	41.5%	-199	
現預金	1,889	18.3%	1,564	15.4%	-325	現預金 -325
売掛金	1,761	17.0%	1,873	18.5%	+112	調剤売上増加 +112
その他	748	7.2%	762	7.5%	+14	
固定資産	5,947	57.5%	5,927	58.5%	-20	
有形固定資産	3,853	37.2%	3,902	38.5%	+49	新店舗、介護事業投資 +106
無形固定資産	1,148	11.1%	1,108	11.0%	-39	減価償却、のれん償却 -124
その他	946	9.1%	916	9.0%	-30	投資有価証券 -16
資産合計	10,345	100.0%	10,126	100.0%	-219	
負債合計	7,623	73.7%	7,374	72.8%	-249	
流動負債	4,075	39.4%	3,678	36.3%	-397	支払手形の減少 -65
固定負債	3,549	34.3%	3,696	36.5%	+147	買掛金増加 +57
純資産合計	2,722	26.3%	2,752	27.2%	+30	長短借入金・私募債償還 -308
負債・純資産合計	10,345	100.0%	10,126	100.0%	-219	利益剰余金の増加 +80
						自己株式取得 -41

■ 2009年2月期中間 連結キャッシュフロー

 株式会社 **メディカル一光**

(単位:百万円)

	08年2月期中間	09年2月期中間	増減額
営業活動による キャッシュフロー	△34	179	213
投資活動による キャッシュフロー	△951	△102	849
財務活動による キャッシュフロー	1,223	△389	△1,612
現金等の増加額	237	△312	△549
現金等の期首残高	1,119	1,869	750
現金等の期末残高	1,356	1,557	201

当期の変動要因

【営業活動によるCF】

・税金等調整前中間純利益	+255
・減価償却、のれん償却	+124
・売上債権の増加	△111
・仕入債務の減少	△7
(支払条件変更および仕入の増加)	
・法人税の支払	△204

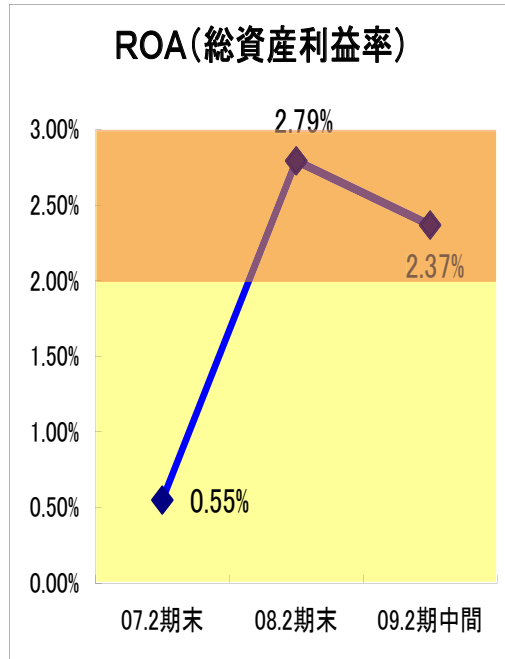
【投資活動によるCF】

・有形固定資産の取得	△106
------------	------

【財務活動によるCF】

・社債の償還	△500
・長期借入金の増加	+192
・配当金	△40
・自己株式の取得	△41

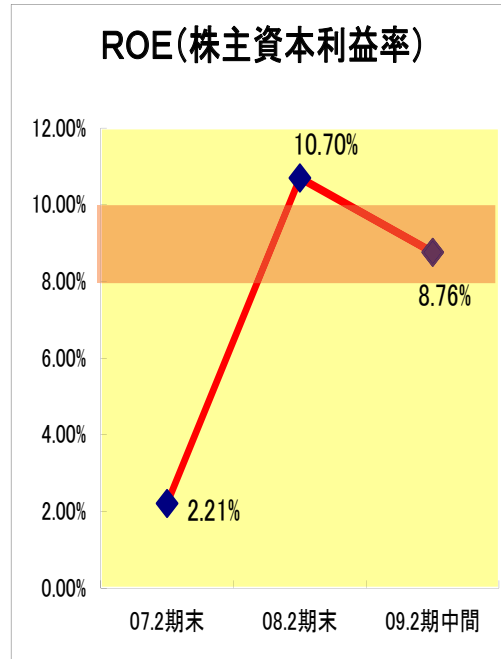
財務指標(2009年2月期 中間連結)



(単位:百万円)

	当期純利益	総資産	比率
07.2期末	46	8,380	0.55%
08.2期末	289	10,345	2.79%
09.2期中間	240	10,126	2.37%

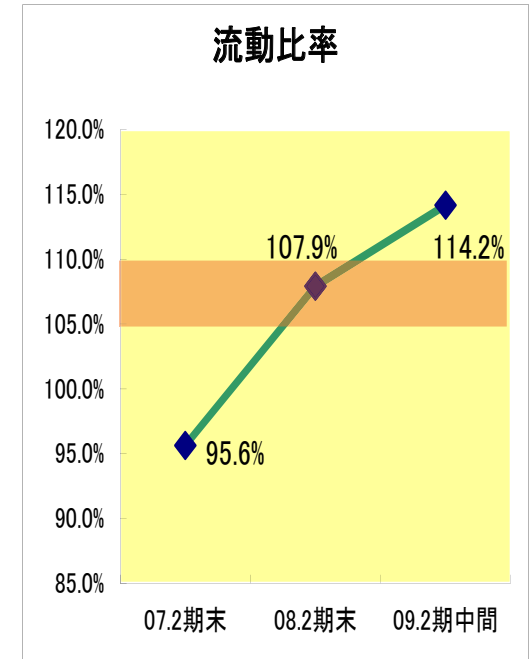
(中間利益は2倍)



(単位:百万円)

	当期純利益	株主資本	比率
07.2期末	46	2,084	2.21%
08.2期末	289	2,702	10.70%
09.2期中間	240	2,741	8.76%

(中間利益は2倍)

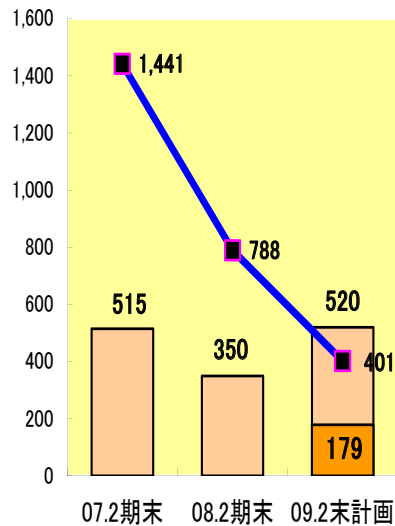


(単位:百万円)

	流動資産	流動負債	比率
07.2期末	3,215	3,362	95.6%
08.2期末	4,398	4,075	107.9%
09.2期中間	4,199	3,678	114.2%

財務指標(2009年2月期 中間連結)

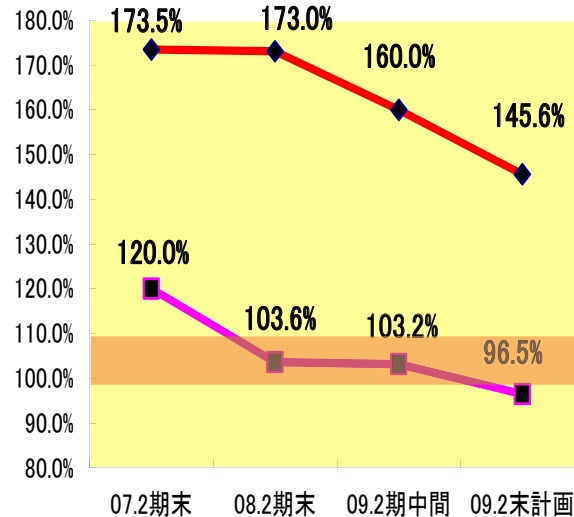
営業キャッシュフローと投資額



(単位:百万円)

	営業キャッシュフロー	投資額
07.2期末	515	1,441
08.2期末	350	788
09.2期中間	179	106
09.2末計画	520	401

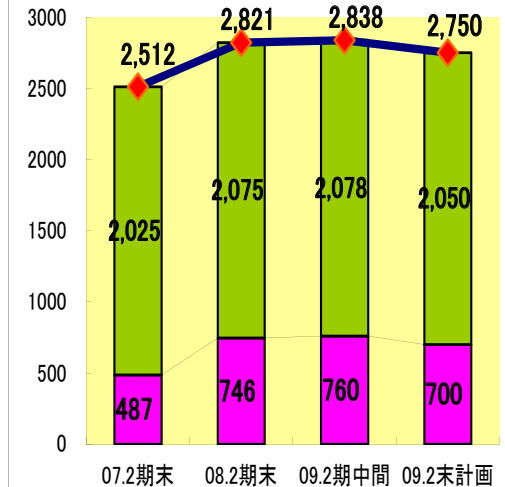
有利子負債比率



(単位:百万円)

	有利子負債	純資産	比率
07.2期末	3,631	2,093	173.48%
08.2期末	4,710	2,722	173.03%
09.2期中間	4,402	2,751	160.01%
09.2末計画	4,150	2,850	145.61%

ネット有利子負債-
不動産事業資産



(単位:百万円)

	ネット有利子負債	不動産事業資産	(不動産を除く) 事業負債
07.2期末	2,512	2,025	487
08.2期末	2,821	2,075	746
09.2期中間	2,838	2,078	760
09.2末計画	2,750	2,050	700

■ 2009年2月期 通期業績計画

1. 売上高 ⇒ 調剤薬局事業が寄与し、前期対比 1,238百万円増加
2. 売上総利益 ⇒ 材料費率の上昇(0.47%増)、介護施設のオープン前費用等により、売上総利益率が低下(前期比 $\Delta 0.8\%$)
3. 経常利益 ⇒ 前期比 $\Delta 88$ 百万円(期初の計画比 +87百万円増加)
4. 当期純利益 ⇒ 前期比 $\Delta 39$ 百万円(期初の計画比 +74百万円増加)

(単位:百万円)

	08年2月期		09年2月期 予想		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増加額	増減率
売上高	14,662	100.0%	15,900	100.0%	1,238	8.4%
売上原価	13,129	89.5%	14,362	90.3%	1,233	9.4%
売上総利益	1,533	10.5%	1,538	9.7%	5	0.3%
販管費	821	5.6%	904	5.7%	83	10.1%
営業利益	712	4.9%	634	4.0%	-78	-11.0%
経常利益	639	4.4%	551	3.5%	-88	-13.8%
当期純利益	289	2.0%	250	1.6%	-39	-13.5%

期初の計画	
計画	修正額 (+)
15,621	279
14,200	162
1,420	118
855	49
565	69
464	87
176	74

■ 2009年2月期 調剤薬局事業(通期計画)

- 1. 調剤売上高 ⇒ 処方箋単価の上昇が寄与し、前期対比 1,132百万円増加
- 2. 薬剤料 ⇒ 薬剤料単価の上昇により、薬剤料比率 +0.4%増加
- 3. 技術料 ⇒ 単価の高い処方箋応需店舗の影響もあり、技術料単価 +89円増加
- 4. 売上総利益 ⇒ 薬剤料の構成比増加により、売上総利益率 $\Delta 0.7\%$ (利益 $\Delta 9$ 百万円)

(単位:百万円)

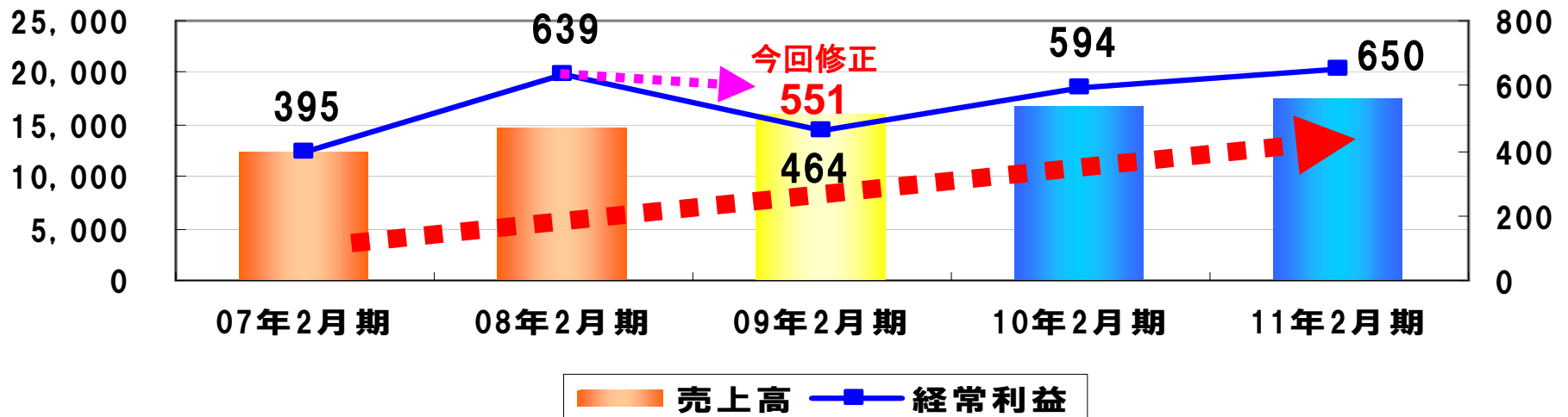
	08年2月期		09年2月期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
調剤売上高	13,689	100.0%	14,821	100.0%	1,132	8.3%
薬剤料	10,607	77.5%	11,547	77.9%	940	8.9%
技術料等	3,081	22.5%	3,274	22.1%	193	6.3%
売上原価	12,349	90.9%	13,579	91.6%	1,140	9.2%
売上総利益	1,251	9.1%	1,242	8.4%	-9	-0.7%
薬剤料単価	6,716		7,192		476	7.1%
技術料単価	1,895		1,984		89	4.7%

■ 業績推移と当面の目標計数

◆ 中期経営計画（09年2月期 通期予想を修正）

（単位：百万円）

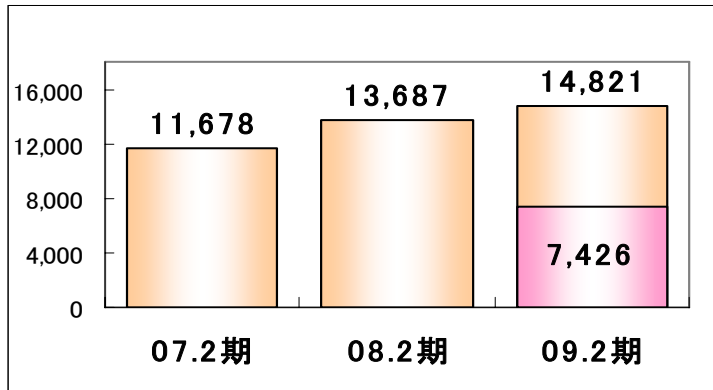
	07年2月期	08年2月期	09年2月期 （当初予想）	09年2月期 （今回修正）	10年2月期	11年2月期
売上高	12,362	14,662	15,621	15,900	16,628	17,500
営業利益	428	712	565	634	698	750
経常利益	395	639	464	551	594	650
当期純利益	46	289	175	250	253	325



2009年2月期 中間決算(連結) セグメント別(売上高推移 3期)

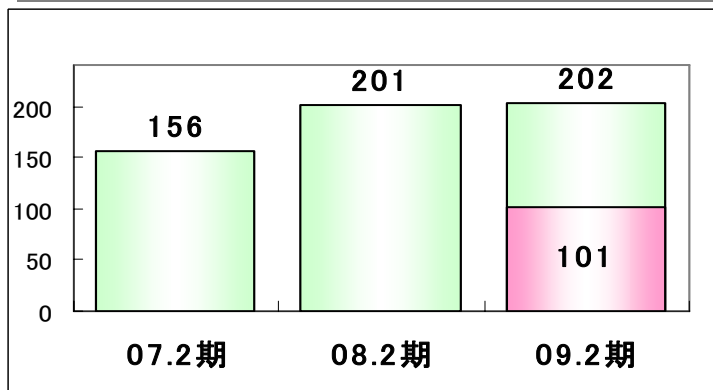
調剤薬局事業

新店(前期・前々期)、M & Aの効果が大きい



不動産事業

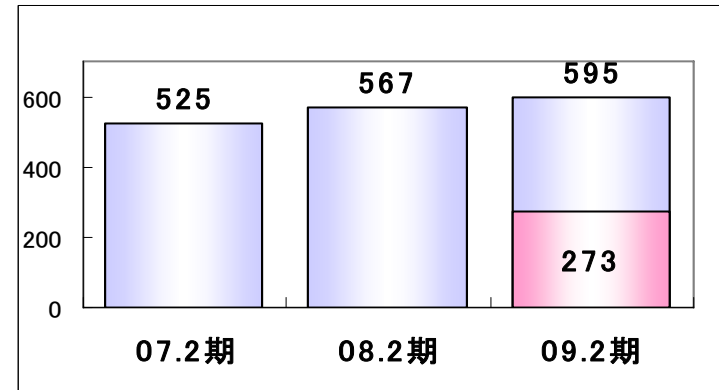
賃貸収入として安定収益を確保している



医薬品卸事業

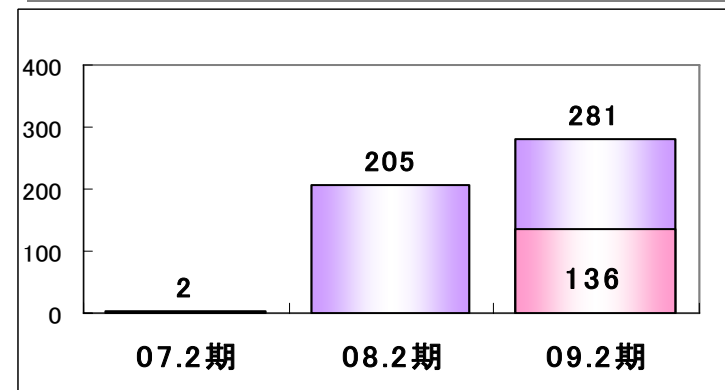
(単位:百万円)

今期より、内部売上が急増(取扱い増加)



介護事業

今下期、1施設運営開始。合計3施設



■ お問い合わせ先

株式会社メディカルー光 IR担当

電話：059-226-1193(代表)

FAX：059-227-6107

E-mail：ir@m-ikkou.co.jp

URL：<http://www.m-ikkou.co.jp>